

- MOU締結地域からの着実な人材受入の流れをつくるなど**既存の関係の強化**と、様々なチャンネルを活かした**新たな有望国・地域の開拓**
- 外国人材が「暮らしやすい・働きやすい・学びやすい」環境づくりを一段と強化し、本県で働く外国人材の満足度を向上させ、本県への定着を図る
- **多文化共生施策のさらなる強化**を図るため、現行プランに替わる「多文化共生推進プラン（仮称）」を策定 ※「日本語教育の推進に関する基本的な方針」と統合

I 受入促進

POINT 1 人材送り出し国との連携強化

ターゲット国をはじめ、新たな国や地域との連携

- ターゲット国
 - ・ベトナム・インド（南部）：県内事業者への定着奨励金制度の周知
 - ・フィリピン：農業以外での受入の可能性を調査するためア克兰州等を訪問し、大学での日本語学習の状況等を視察
 - ・ミャンマー：中央会と連携し、送出機関や日本語学校を視察
 - ・東ティモール：農業や宿泊業に加え、事業者ニーズを踏まえ新たな分野での受入も検討

- 新** ■ **新たな有望国・地域**
 - ・インド（北東部）：ナガランド州政府とMOU締結を視野に入れた人材送り出しに関する協議を実施
 - ・インドネシア：県内事業者の受入ニーズの調査や現地送出機関との連携

POINT 2 事業者における外国人材の雇用促進

外国人材と事業者をつなぐ体制の整備

- 新** ■ 新たに外国人材を雇用しようとする事業者等のための相談窓口の設置（制度や在留資格の説明、県内監理団体の紹介）※高知県行政書士会と連携
- 拡** ■ 高度外国人材を雇用しようとする県内事業者の掘り起こし（雇用促進に向けたセミナーの充実、合同企業説明会の開催）
- 新** ■ 【介護分野】現地で外国人介護人材確保に向けた取り組みへの支援（現地で採用・広報活動等に係る費用等を補助）

II 定着促進

柱1 「暮らしやすい」環境づくり

POINT 3 多文化共生社会の一層の推進

多文化共生社会づくりに取り組む市町村等への支援

- 現行プランに替わる「多文化共生推進プラン（仮称）」の策定
- 多文化共生・国際交流を促進する市町村や民間団体に対する支援（多文化共生社会への理解促進や交流イベントの開催等を支援）
- 新** 市町村：補助制度の創設
- 拡** 民間団体※：助成総額の拡充および申請受付時期を1→2回に増
※（公財）高知県国際交流協会事業

柱2 「働きやすい」環境づくり

POINT 4 就労環境の整備促進

住宅の確保や就労環境の整備等への支援

- 技能実習生等の住居を改修する事業者への支援（働きやすい環境整備事業費補助金）
- 社内マニュアルや標識類の多言語化等への支援

柱3 「学びやすい」環境づくり

POINT 5 スキルアップへの支援

技能習得や日本語教育等への支援

- 定・活** ■ 技能やビジネスのスキルアップに取り組む事業者への支援
- 定・活** **新** 【林業】林業大学校での指導者のスキルアップに向けた研修の開催
- e-ラーニングを活用した時間や場所にとらわれない学習機会の提供

I 及び II に 共通する取組

POINT 6 外国人材のさらなる受入と定着促進

事業者における就労環境や住環境の整備促進

- 定・活** **新** ■ 「こうち外国人材優良サポート事業者認証制度」の創設・運用開始

「高知県における日本語教育の推進に関する基本的な方針」 施策の柱イメージ

3つの施策を相互に連携・関連させて取り組み、日本語教育の推進による県民と外国人の共生社会を目指します。

県内における全ての外国人が必要な日本語教育を受けられる環境づくり

教育・就労・生活など
様々な場面での外国人



[教育] 幼児、児童、生徒等



公立学校における受け入れ体制の
充実と、適切な教育機会の確保

[教育・就労] 留学生等



ビジネス日本語の習得と、県内
就職につながるしくみづくり

[就労] 被用者(労働者)



コミュニケーションの促進に
よる、働きやすい職場づくり

[生活] 地域の生活者



生活に必要な日本語の学習機会と、
地域住民との交流の場づくり

柱1 日本語教育の機会の拡充

目指す姿

日本語教育を通じて、
県民と外国人との交流や相互理解が進み、
地域の仲間として共に働き共に暮らす高知県
～みんなでつくろう、グローバル高知家～

相互理解・交流
コミュニケーション

日本語教育の実施

日本語教育の推進は、
「環境づくり」
「意識づくり」
「人づくり」が大事！



柱2 日本語教育に関する理解と関心の増進等

県民



日本語教育理解への啓発と、
やさしい日本語の普及

事業主



職場でのコミュニケーション
促進を支援

共生社会につながる県民の意識づくり

柱3 日本語教育に従事する者の能力及び資質の向上

日本語教育に従事する
教員・ボランティア



情報提供やスキルアップ支援

自治体職員



日本語教育の推進に向けた
情報共有

日本語教育を支える人づくり

相互協力
情報共有

高知県多文化共生推進プラン（仮称）の骨子案（現プランとの比較）

プラン名	第2期高知県外国人材受入・活躍推進プラン
目的	本県で働く外国人材の満足度をさらに向上させ、本県への定着を図ることを目的として策定
期間	R6-R9（毎年度バージョンアップ）
策定手続	副知事をトップに庁内各部局の副部長級で構成する「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応会議」で協議し、決定
構成	0 外国人雇用に関する現状 I 受入促進に関する取組 （１）ターゲット国に対する取組 （２）MOU締結先からの着実な受入れの実現 （３）選ばれる県に向けたPR活動 （４）制度理解の促進、相談窓口の周知 （５）高度外国人材の受入れ促進 II 定着促進に向けた取組 （１）外国人が「暮らしやすい」環境づくり ア 住宅の確保 イ 地域との交流促進 ウ 日本語教育支援【日本語教育の推進に係る基本的な方針（～R7）】 ・日本語教育の機会の拡充 ・日本語教育の理解と関心の増進等 ・日本語教育に従事する者の能力及び資質の向上 エ 安全・安心に暮らせる環境の整備 ・ココフォーレによる相談対応 ・災害発生時の情報発信・支援等の充実 ・医療サービスの提供等の整備等 ・図書館の多文化サービスの充実 （２）外国人が「働きやすい」環境づくり ア 就労環境整備の促進 イ 業務に必要な日本語の習得 （３）外国人が「学びやすい」環境づくり ア 技能習得等に関する支援 イ 日本語教育支援

高知県多文化共生推進プラン（仮称）
本県在住の外国人と県民とが互いに理解し、尊重し合える社会を形成することを目的として策定
R8-R11（毎年度バージョンアップ）※ KPIはR9で設定（産業振興計画との整合を図る）
副知事をトップに庁内各部局の副部長級で構成する「高知県外国人材活躍・多文化共生推進庁内会議」で協議し、外部有識者会議（多文化共生推進会議）の意見を踏まえ、決定
0 在住外国人に関する現状と課題 I 外国人材の受入促進 （１）外国人材から選ばれる高知県の実現 ア MOU締結先等（ベトナム ラムドン省、インド タミル・ナド州等） イ その他の国・地域（インドネシア、フィリピン等） （２）外国人材の定着と活躍 ア 県内事業者における雇用促進 イ 技能実習生の受け入れ ウ 特定技能外国人の受け入れ エ 高度外国人材の受け入れ II コミュニケーション支援 （１）日本語学習支援【日本語教育の推進に係る基本的な方針】 ア 日本語教育の機会の拡充 イ 日本語教育の理解と関心の増進等 ウ 日本語教育に従事する者の能力及び資質の向上 （２）多言語表記、やさしい日本語の普及啓発 （３）相談体制の充実 III 外国人の生活支援 （１）居住環境等の整備 （２）医療・保健・福祉サービスの提供 （３）適正な労働環境の確保 （４）災害の情報発信・支援等の充実 ア 防災知識の普及啓発 イ 災害時の支援体制の整備 （５）防犯・交通安全対策の推進 （６）子育て・教育の充実 IV 意識の醸成と地域活性化の推進 （１）地域住民との交流の場の充実 （２）多文化共生推進のための意識の醸成 （３）多文化共生を担う人材の掘り起こし・育成 （４）地域住民との連携・協働による地域活性化の推進 （５）留学生の地域における就職促進 V 多文化共生施策の推進体制 （１）行政の役割（県・市町村・ココフォーレ） （２）事業者の役割 （３）県民の役割

※ 各項目はやさしい日本語で表記

高知県多文化共生推進プラン（仮称）策定スケジュール

プラン策定の目的

外国人が「暮らしやすい」「働きやすい」「学びやすい」環境を作り、外国人に「選ばれる高知県」を目指すため、県・市町村・民間企業の関係者が協働して取組を進めるための方策をまとめたプランを策定する。

※現在、県では関連するプラン等として、「第2期高知県外国人材受入・活躍推進プラン」（商工労働部所管：R6.3策定）と「日本語教育の推進に関する基本的な方針」（文化生活部所管：R4.3策定）があり、これらを整理・統合する形で新たなプランを策定する。

